

平成26年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年7月31日

上場会社名 東北化学薬品株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7446 URL http://www.t-kagaku.co.jp  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 工藤 幸弘  
 問合せ先責任者(役職名) 管理グループ経理部長 (氏名) 小寺 伸哉 (TEL) 0172-33-8131  
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年9月期第3四半期の連結業績(平成25年10月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年9月期第3四半期	22,359	11.0	226	106.8	248	105.8	151	100.1
25年9月期第3四半期	20,144	39.0	109	△7.8	120	△34.6	75	△3.4

(注) 包括利益 26年9月期第3四半期 186百万円(△16.9%) 25年9月期第3四半期 223百万円(167.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年9月期第3四半期	32.14	—
25年9月期第3四半期	15.96	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年9月期第3四半期	13,050	4,522	34.6	962.23
25年9月期	12,791	4,392	34.3	934.80

(参考) 自己資本 26年9月期第3四半期 4,521百万円 25年9月期 4,392百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年9月期	—	0.00	—	12.00	12.00
26年9月期	—	0.00	—		
26年9月期(予想)				12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年9月期の連結業績予想(平成25年10月1日～平成26年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,000	6.2	300	64.7	330	65.8	150	55.8	31.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	26年9月期3Q	4,800,000株	25年9月期	4,800,000株
② 期末自己株式数	26年9月期3Q	101,075株	25年9月期	100,877株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	26年9月期3Q	4,699,003株	25年9月期3Q	4,729,283株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	5
4. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や金融政策などにより、円安・株高が進み、景気回復の兆しが見られたものの、海外経済の下振れ懸念やウクライナ、イラク情勢の緊迫化など、依然として景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような経済状況の中で、当社グループはビジネス環境変化に対するスピーディーな体質改革を図り、積極的な営業活動をしてまいりました。

この結果、前年同四半期と比べ売上高は、223億59百万円と22億15百万円(11.0%)の増収、営業利益は、2億26百万円と1億16百万円(106.8%)の増益、経常利益は、2億48百万円と1億27百万円(105.8%)の増益、四半期純利益は、1億51百万円と75百万円(100.1%)の増益となりました。

各セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

## (化学工業薬品)

化学工業薬品は国が進めるジェネリック振興政策の影響もあり、医薬品業界への販売増などで前年同四半期を上回りました。また、同関連機器も大学等への受注が増加したことや民間の設備投資が活発になったことで前年同四半期を大きく上回りました。この結果、売上高は、全体で96億42百万円と16億5百万円(20.0%)の増収、セグメント利益(売上総利益)は8億72百万円と82百万円(10.5%)の増益となりました。

## (臨床検査試薬)

臨床検査試薬は値引要請や検体数減少などにより前年同四半期を下回りました。しかし、同関連機器は大型案件などがあり前年同四半期を上回ることができました。この結果、売上高は、全体で100億19百万円と4億98百万円(5.2%)の増収、セグメント利益(売上総利益)は9億40百万円と16百万円(1.8%)の増益となりました。

## (食品)

食品添加物は円高による材料高騰など厳しい環境でありましたが、畜産、水産関係への販売増や同関連機器の販売増により前年同四半期を上回りました。この結果、売上高は、22億60百万円と1億19百万円(5.6%)の増収、セグメント利益(売上総利益)は1億96百万円と22百万円(13.2%)の増益となりました。

## (その他)

その他は価格競争の激化などにより厳しい環境であり、同関連機器の販売減により、年同四半期を下回りました。この結果、売上高は4億37百万円と8百万円(△2.0%)の減収、セグメント利益(売上総利益)は仕入時期のずれ込みによりリベートが減少した影響などで36百万円と15百万円(△30.2%)の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産・負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ、2億58百万円増加し、130億50百万円となりました。また、負債につきましては、前連結会計年度末に比べ、1億28百万円増加し、85億27百万円、純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ、1億29百万円増加し、45億22百万円となりました。主な内容は以下のとおりであります。

(資産)

資産の増加の主な原因は、現金及び預金が4億4百万円増加、受取手形及び売掛金が1億78百万円減少したことによるものであります。

(負債)

負債の増加の主な原因は、支払手形及び買掛金が1億33百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

純資産の増加の主な原因は、利益剰余金が94百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後のわが国経済につきましては、景気の回復は不透明であり、当社を取り巻く事業環境は依然として厳しいものと予想されます。第3四半期までの業績動向を踏まえ、平成25年11月14日に公表した平成26年9月期の通期予想につきましては、計画どおり推移しております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
重要なものはありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	861,078	1,265,417
受取手形及び売掛金	6,262,655	6,084,629
商品	800,229	777,950
繰延税金資産	14,834	4,594
その他	265,580	265,576
貸倒引当金	△4,944	△1,735
流動資産合計	8,199,433	8,396,433
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	471,738	463,422
土地	1,661,832	1,661,832
リース資産(純額)	104,299	106,665
その他(純額)	265,361	286,708
有形固定資産合計	2,503,232	2,518,629
無形固定資産		
のれん	129,792	105,456
その他	17,271	16,187
無形固定資産合計	147,063	121,643
投資その他の資産		
投資有価証券	893,247	942,581
リース投資資産	208,659	215,119
その他	863,292	892,562
貸倒引当金	△23,208	△36,889
投資その他の資産合計	1,941,992	2,013,372
固定資産合計	4,592,288	4,653,645
資産合計	12,791,721	13,050,078
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,576,963	6,710,335
短期借入金	430,000	430,000
1年内返済予定の長期借入金	68,760	68,760
リース債務	125,526	142,673
未払法人税等	51,227	57,923
賞与引当金	52,910	15,000
その他	121,288	164,284
流動負債合計	7,426,676	7,588,976
固定負債		
長期借入金	327,180	275,610



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
リース債務	281,723	290,290
繰延税金負債	103,855	130,963
退職給付引当金	74,702	57,846
役員退職慰労引当金	152,188	151,698
その他	32,648	32,423
固定負債合計	972,298	938,832
負債合計	8,398,975	8,527,809
純資産の部		
株主資本		
資本金	820,400	820,400
資本剰余金	881,100	881,100
利益剰余金	2,514,935	2,609,560
自己株式	△46,196	△46,313
株主資本合計	4,170,238	4,264,746
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	222,507	256,683
その他の包括利益累計額合計	222,507	256,683
少数株主持分	—	839
純資産合計	4,392,746	4,522,269
負債純資産合計	12,791,721	13,050,078

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)
売上高	20,144,586	22,359,961
売上原価	18,204,083	20,313,439
売上総利益	1,940,503	2,046,521
販売費及び一般管理費	1,831,124	1,820,329
営業利益	109,379	226,192
営業外収益		
受取利息	2,776	3,521
受取配当金	8,793	10,953
受取手数料	4,025	7,149
持分法による投資利益	753	377
その他	14,173	8,543
営業外収益合計	30,522	30,546
営業外費用		
支払利息	17,701	4,296
売上割引	—	2,709
その他	1,637	1,650
営業外費用合計	19,338	8,656
経常利益	120,562	248,082
特別利益		
固定資産売却益	49	313
段階取得に係る差益	22,500	—
投資事業組合運用益	1,669	28,494
受取和解金	—	4,477
特別利益合計	24,219	33,285
特別損失		
固定資産除却損	250	1,113
投資有価証券評価損	766	—
会員権評価損	—	1,375
リース解約損	—	4,281
その他	1,983	—
特別損失合計	2,999	6,769
税金等調整前四半期純利益	141,782	274,598
法人税、住民税及び事業税	56,587	106,188
法人税等調整額	9,713	16,831
法人税等合計	66,300	123,019
少数株主損益調整前四半期純利益	75,481	151,578
少数株主利益	—	564
四半期純利益	75,481	151,013

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	75,481	151,578
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	148,367	34,450
その他の包括利益合計	148,367	34,450
四半期包括利益	223,849	186,028
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	223,849	185,189
少数株主に係る四半期包括利益	—	839

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年10月1日 至 平成26年6月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年10月1日 至 平成26年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成24年10月1日 至 平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

平成24年10月1日付で株式会社日栄東海が連結子会社となりました。

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)
	化学工業薬品	臨床検査試薬	食品	その他	計		
売上高							
外部顧客への売上高	8,036,496	9,520,732	2,140,784	446,573	20,144,586	—	20,144,586
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	8,036,496	9,520,732	2,140,784	446,573	20,144,586	—	20,144,586
セグメント利益	790,149	924,506	173,421	52,425	1,940,503	—	1,940,503

(注)セグメント利益は、四半期連結損益計算書の売上総利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

第1四半期連結会計期間で株式会社日栄東海の株式を追加取得したため、のれんが1億62百万円発生しておりますが、特定の報告セグメントには関連づけてはおりません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成25年10月1日 至 平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)
	化学工業薬品	臨床検査試薬	食品	その他	計		
売上高							
外部顧客への売上高	9,642,319	10,019,409	2,260,455	437,777	22,359,961	—	22,359,961
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	9,642,319	10,019,409	2,260,455	437,777	22,359,961	—	22,359,961
セグメント利益	872,821	940,813	196,314	36,571	2,046,521	—	2,046,521

(注)セグメント利益は、四半期連結損益計算書の売上総利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。